

参議院厚生労働委員長就任にあたって

私、辻泰弘は、この度、参議院の厚生労働委員会の委員長を拝命することとなりました。今日までお支え下さいました皆様方のおかげと心より感謝し、厚く御礼申し上げます。

現在、国民生活は、「競争・効率・自己責任」の論理に片寄った新自由主義の政策運営、社会保障費の削減、アメリカの金融・経済危機に端を発する景気の悪化によって、雇用難民、医療難民、介護難民などと形容されるほどに、極めて厳しい局面にあります。

国民生活をしっかり支えるべきセーフティーネットが極めて脆弱になってしまった現在、生身の人間の幸せに関わる厚生労働分野の政策の再構築が今こそ求められています。

「厚生」は「生」を「厚く」と書きますが、その生とは、生活の生、人生の生、生命の生、衛生の生、生身の人間の生である、その「生」を「厚く」することが「厚生」の意味であり、それこそが政治の使命でもあると確信しています。

私、辻泰弘は、今日まで皆様方に賜って参りましたご厚情の数々を胸に刻みながら、雇用、労働、医療、年金、介護、福祉、少子化対策、子育て支援、男女共同参画、食の安全など、生活の基盤を確立し、暮らしの安定を実現するため、職責をかけ全力を尽くす決意です。

何卒、今後、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

参議院議員 辻 泰弘

(2009.1.5)